

大暴れの冬将軍も子ども達の作ったお獅子に降参!

始まりは16世紀の頃。お正月やお祭りなどの縁起の良い日に「てんつくてん♪」のお囃子太鼓にのって獅子頭を被って舞う民俗芸能のひとつです。悪魔祓いや疫病退治を祈願し、地域によって一人立や二人立の舞があり、頭の作り方にもそれぞれ特徴があるそうです。



宮脇 愛実(1年)



もうすぐお正月、準備はOK! お獅子会の面々たち(幼稚園)



森本 光(2年)



唐松 咲弥(3年)



栗原 敦也(5年)



刺田 昂太(5年)



八木 奈都紀(6年)



「ちびっ子建築家たちの夢の家 展示場」



次から次へと広がっていく子ども達の奇想天外な発想や楽しい落書きは明日へのレガシーである。エッヘン!



「ご飯もおやつもケーキの家」
山本 一遥(年中)



「飛んで飛んで、ひこうきの家」
安部 真隆(年中)



「楽しすぎるレゴブロックの家」
野間 心壽(年長)



「さかなの家で海底散歩」
松田 唯歩樹(年長)



「ブドウの家」
小椋 藍(年中)



「発射! ロケットの家」
仙波 隼人(年中)



「大好きロボットの家」
岩田 朋樹(年中)



「大きな木の家」
古田 芭那(年長)



「勉強大好き、鉛筆の家」
城戸 晴妃(年長)



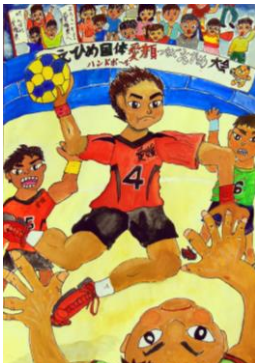
やったー!

みきゃんと応援したよ! 愛顔つなぐ「えひめ国体・えひめ大会」

がんばれー!



井手 悠記子(4年)



田頭 花唯(4年)



湊 桃香(5年)



吉田 実央(5年)



中島 正弥(一般)

